

日根野中だより

令和5年10月30日発行 日根野中学校 校長 武田 博之

保護者のみなさまへ…合唱コンクール・公開授業日… 学校防災・地域防災の講演会について…

先日から何度も連絡させていただきましたが、10月31日（火）に合唱コンクールを実施します。1年生：1.2限・8：50～、2年生：3.4限・10：40～、3年生：5.6限・13：15～の開始予定です。多少の遅れはご容赦願います。予定が立てにくく、大変ご迷惑をかけているとは思いますが、ご参加ご観覧をよろしくお願いたします。また、合唱コンクール予選で上位に入ったクラス（1年生1クラス、2年生1クラス、3年生2クラス）は、11月1日（水）5.6限の合唱コンクール本戦に参加することになります。合唱コンクール本選当日は、その当該クラスの保護者の方のみのご観覧と考えております。ご理解ください。

感染症の拡大が懸念される中、心配は尽きないのですが、合唱コンクール予選の日より三日間（10/31～11/2）公開授業も開催いたします。また公開授業最終日（11/2）の5.6限で防災学習の一環として、講師先生をお招きし講演いただきます。講師先生は、吉田良一先生。「地域防災と学校防災の経験を全国へ…」の内容でご講演いただきます。

これからの南海トラフ地震の心配もある中、家庭・学校だけでなく地域を巻き込んだ防災の考え方・知識を教えていただける、興味深い講演になっています。お誘いあわせの上、ご参加よろしくお願いたします。

すべては人間関係から生まれてくる…考動!

毎日のように学校や家で、学びを深めようとがんばっていますが…人の学びには人それぞれの特徴があって、目からの情報を中心に記憶していく人もいれば、耳からの情報を中心に記憶していく人もいる…。また実体験を通じて肌感覚・触覚からの情報のように五感を通じて学び記憶する人がいるそうです…。ただ、その自分に合った体験、学びの方法を通してどんな時に記憶を定着していくことができるのか…それは「感情が動いたとき」…まさにその

時の記憶が一番定着しやすいそうです。例えば…授業中、突然先生から指名を受けて、ドギマギしながら答えた経験、その時の記憶…また、川で遊んだ経験のある人は分かると思いますが、その水の冷たさの記憶…など。その時共に感情が動く経験こそが、記憶を定着させることに大きな力を発揮する…本当にそう感じます…。感情を絡めて学ぶことこそ、記憶の定着に大きな力を発揮するということだと思います。

そんなことを考えていくと、例えば授業の中では、実体験を増やして工夫する授業はどの教科も増えてきましたが、何よりみんなの心が揺れる…感情が伴うような授業…話術も大事、その話術が浸透するための人間関係が何より大事になってくる…そんな感じがします。

単に学ぶという一つのことでも、そこに担任の先生との人間関係…クラスみんなとの人間関係などが大きな影響を及ぼしている…そう考えると、みんなの行動（考動）が求められてきますね！大事なものは「人間関係」…そこからすべてが生まれてくるということなのでしょう！「配慮」「遠慮」「心を配る」…大切な生き方の基本です…

人間にとって大事なものは
出逢い…
どんな人に出逢い…
素直な心で…
何を学ぶことができるのか…
それを掴むことができるか…
自分次第…

<凡事徹底> 心の在り方…がんばるとは？

風に向かって歩み続けること…お正月の凧に例えて…それが「がんばる！」…ストレスの特効薬は「笑顔」…「笑顔の花」を咲かせるには、根から養分・水分を吸い上げることが大事…。人間にとって、その養分・水分とは…一体何？他人の「笑顔の花」から養分を吸い取ってしまうような、ニセモノの笑顔にしていないか…。そんな花は必ず枯れる…。中学生期は特に、内面を磨く時…。この時期に勘違いし、外面を着飾ることを覚えてしまうと、内面を磨き、人間として大きく成長するチャンスを失うことに…。

苦しい時は上り坂…

逆に楽に感じる時は要注意！それはすべてが、
下っている時なのです…

今自分は、どちらの坂道を走っていますか？…考えてみては？

生きる上で大切な事は…
立てた目標を達成する…
ただそれだけでなく…
その目標を達成するために
必死こいて生きる事…
だと思えます…